

## 保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

記入年月日: 令和4年2月15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	19	4		2	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思われますか	21	1		3	
	3	生活空間が、本人にわかりやすく構造化された環境※ⅰになっており、また特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思われますか	17	6		2	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思われますか	21	2		2	
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者の思いや課題を取り入れ、それを活かして、児童発達支援計画※ⅱが作成されていると思われますか	23	2			
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思われますか	21	2		2	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思われますか	25				
	8	活動プログラム※ⅲをお子さんの状況に合わせて変える工夫がされていると思われますか	24			1	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、さくら教室通園児以外のお子さんとは活動する機会があると思われますか	9	8	3	5	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思われますか	21	4			
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされていると思われますか	21	2		2	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※iv等）が行われていると思われませんか	18	5		2	
	13	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思われませんか	25				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思われませんか	21	4			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思われませんか	4	8	2	11	
	16	お子さんや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子さんや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思われませんか	21	2	1	1	
	17	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われませんか	23	1		1	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信されていると思われませんか	19	5		1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思われませんか	23	1		1	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明され、その発生を想定した訓練が実施されていると思われませんか	15	3		7	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思われませんか	12	4		9	
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしておられますか	24	1			
	23	事業所の支援に満足しておられますか	24	1			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月31日

事業所名 児童発達支援事業所さくら教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	各児個別で机配置をしている。活動内容で戸外活動を取り入れている。	利用児が多い時、長期休業中はスペースがなさずぎると感じる。室内で体を動かせるスペースなどほしい。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	利用児の人数によって、臨時職員を配置している。	対応経験を増やし、対応技術を向上させていく必要もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	1	施設の構造上バリアフリーになっていないところがあるが、簡易スロープを設置するなどしてバリアフリー化できる準備がある。	段差はあるので、改善することが必要なところもある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	朝礼、終礼等、都度気づきを発信し振り返るよう努力している。その日の振り返りは記録している。	支援計画と照らし合わせながらの業務が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		職員の意識向上への取り組みが課題。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			関係機関の方々に助言やアソビを押しを頂いて改善に努めている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		法人内の研修だけでは、児童に特化した知識技術は習得できにくい。さらに、法人内外の研修が必要だと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		立案をする時間をスケジュールに組み込んでいくようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			内容を調整するスタッフを立て、役割分担をしておく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			平日の活動内容はさらに工夫の余地がある。課題を個別支援計画に照らし合わせ設定し、職員間で共有していくことが大切。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		共有、協力できるよう、気づきを発信する努力をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		事実の検証をし、そこから改善策を提案するプロセスを大事にしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	並行通園の利用児が多く、利用児個人がそれぞれ児童館等に在籍していることが多い。プライバシー保護の観点からも、事業内で積極的に交流をしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	参加の機会が作りにくい現状。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		心理士、ST、OT、Drなどから、さまざまな助言をいただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら行った。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時、受給者証の内容変更時に書類を通し説明している。も説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		必要に応じて面談等を行い支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	保護者活動は新型コロナウイルス感染予防の観点から今年度も最小限。奉仕活動に参加してもらった保護者も多く感謝している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		日々スタッフで確認をとりあい、報告し対応する体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		通信を発行して、情報発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4		コロナ禍で、法人主催の交流行事が中止となるなど、交流の機会がない現状。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			さらに頻繁に、定期的に活動に取り入れていくことが必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束について、個別支援計画に記載し保護者に了解を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		